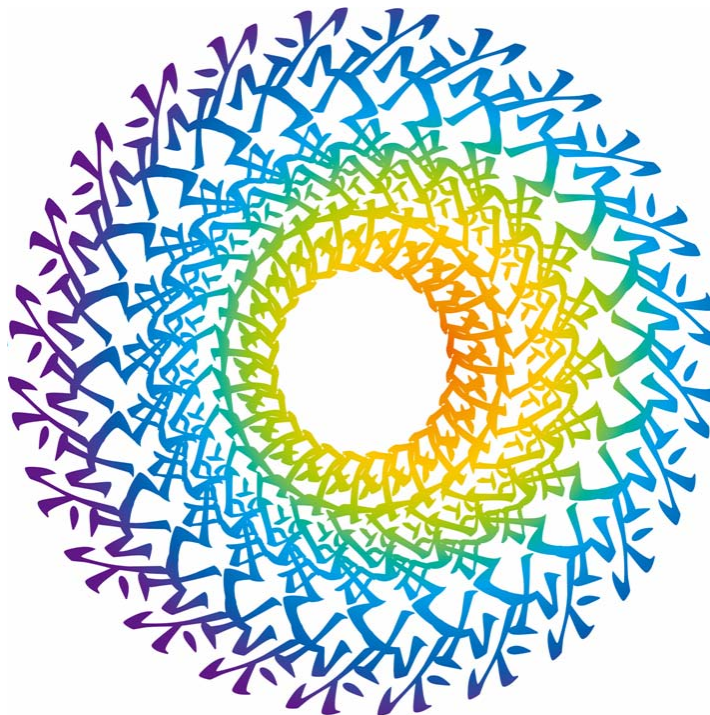


平成20年
4月23日
 (水)



講義

17:30~19:00

場所

新領域基盤棟大講義室(2C0)

懇親会

19:00~20:00(予定)

懇親会は新領域基盤棟
 共通セミナー室1, 2を使用します

次世代複合材航空宇宙機に神経網を張り巡らせる

最新航空宇宙機には、先端複合材料が多く用いられるようになってきている。その構造健全性を高め、安心・安全な構造とし、かつ、メンテナンスコストを削減するために、スマートセンサネットワークを用いた構造ヘルスマニタリング技術の適用が期待されている。本講演では、主に光ファイバセンサを用いた、日本独自の構造ヘルスマニタリング技術について紹介します。



武田 展雄
教授

海馬ニューロン新生が導いた私の学融合研究

ヒトを含め哺乳動物では、成体になっても、海馬においてニューロンが生み出され続けている。この新生ニューロンは、海馬回路に組み込まれ、学習・記憶に代表される認知機能に深く寄与することが判明している。私らはこれまでに、「海馬ニューロン新生」を介して、脳と心の問題、海馬回路における情報処理、脳の進化、脳梗塞やアルツハイマー病研究、そして超強磁場MRI利用研究、など様々な学融合研究を手がけてきた。本日は、その軌跡の一端を紹介させていただきたい。



久恒 辰博
准教授

<生>の固有性を考える

阪神淡路大震災の復興過程で明らかになったのは、人々の自律的な生活を支えるためには<生>の固有性に対する配慮が不可欠であるということであった。具体例を挙げながら、人々の<生>の固有性を考えることの意味を改めて検討する。



清水 亮
准教授